

## 令和3年度の学校評価

令和3年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけがえのない、すべて生命を大切にする。（交通安全・防犯意識の向上）</li> <li>・工業技術者としての安全意識の向上</li> <li>・社会貢献活動などを通して、地域に愛される学校づくり</li> </ul>		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
学校運営 （総務部）	全職員の協力を得た学校行事の運営	入学式・卒業式等の式典、PTA総会等の各種行事をどのような状況でも学校全体で行えるように検討する。	行事後の反省を活かし、全職員、各分掌より協力をもらえるよう運営を検討する。
	防災活動の充実と災害時の安全確保	防災意識の向上を図るため地域と連携した防災訓練を考える。リモートを使った講習会等も検討をしていく	生徒・教員の防災意識の向上を図り、いろいろな条件での避難訓練の方法を検討する。
	学習環境の整備	生徒の学習活動のために、学習環境を整備する。	机・椅子・カーテンの現状を把握し、整備を充実させる。
PTA活動 （総務部）	保護者との連携	学校行事等へのPTAの参加を促し、学校と保護者の連携を図る。また、役員会、委員会をリモートでも行えるように検討する。	学校行事への参加に向けた取組を充実させる。
学校広報 （総務部）	広報活動の充実	広報誌の内容を検討し、広報活動のさらなる充実を図る。	工科高校としての魅力を伝えることができるよう検討する。
学習指導 （教務部）	学習活動へ主体的に取り組む姿勢の定着と学力の向上	新学習指導要領の内容を踏まえて、生徒が自ら考え、学習活動へ主体的に取り組める授業展開等を研究、実践する。また、生徒の学習活動の様子から、指導方法等の改善を行う。	学習の成果について、適切な評価ができるように内容を整え、生徒が取り組む様子を観察し評価する。また、評価の状況を踏まえて、指導の手法や授業展開の改善を行う。
生徒指導 （生徒指導部）	基本的な生活習慣の確立	「時を守り、場を清め、礼を正す」を軸として指導をする。 ・時を守る：登校指導 ・場を清め：4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底 ・礼を正す：元気な挨拶、正しい言葉遣い、正しい身だしなみ	社会人として必要な基本的な生活習慣を身に付けさせる。 遅刻した場合の対応方法の指導も同時に行う。 挨拶は職員からも積極的に挨拶をするように心がける。
	交通安全意識の向上	交通ルールやマナーを守る目的が「命を守る事」であることを、ホームルームや全校集会で指導する。 朝の立ち番や交通安全運動にて指導する。	事故の未然防止が最も大切であるが、事故後の対応のしかたも指導していく。 教員による校外交通指導が積極的に行えるよう心掛ける。 命の大切さを伝え続ける。
	授業規律の確立	授業の受け方の指導を行う。 盗難防止を兼ねて、全職員で毎授業時間、教室巡回を行う。姿勢を正して授業に参加させる。 教科担任・学級担任・学科・生徒指導部が連携をして指導を図る。	組織的に生徒指導に取り組む。 チャイム着席はもとより、授業を受ける姿勢が大切であることを生徒に考えさせる。 教室巡回記録簿を活用し、必要とあれば個別指導を行う。
いじめ防止対策の推進 （生徒指導部）	早期発見	「人との関わりアンケート」の毎学期に実施する。 定期的な担任面談の実施。	アンケート結果への迅速かつ慎重な対応。担任面談からも、情報をいち早く集約する。
	情報の共有	担任、学年会、生徒指導、教育相談、管理職を中心とした情報共有を図ることで、多くの教職員の目で生徒の変化を見つける。	個人情報の取り扱いに十分注意を払い、保護者との連携を踏まえ慎重に対応をする。状況によってはスクールカウンセラーの協力を得る。
	啓発活動	人権講話を実施する。 いじめに関するポスター等を掲示する。	日頃からの人権についての意識付けを図る取り組みを進める。

図書館活動 (図書部)	工業技術者としての知識・技術の取得と思考力・判断力・表現力の育成に有益な図書の整備	各教科の教員と連携し、生徒が主体的に学習したり、自ら課題を見つけて思考し、その成果を適切に表現する能力を育成したりする図書等を充実させ、適宜紹介する。	工業や科学の関連図書や問題集など、生徒の学習意欲を喚起する図書をはじめ、社会一般の問題点を提起している図書や、良質の文学作品等を紹介し、生徒が利用する機会の増加を図る。
	図書館及び視聴覚室の環境整備	図書館や視聴覚室の学習情報センターとしての機能を充実させるために、設備の改善や教材の購入を行い、快適な学習環境の整備を目指す。	図書館や視聴覚教室の経年劣化した設備の修繕や新規購入を行う。また、図書に比べて購入の機会が少ない視聴覚教材の充実を図る。
	図書委員会活動の充実	図書館活動の活性化や図書館の環境整備に向けて、図書委員に主体的に活動させ、生徒の視点からより良い図書館づくりを行わせる。	図書委員が自ら意見を出し、現状を改善するための活動を行う機会を増やし、適切な指導を行う。
進路指導 (進路指導部)	地域社会に望まれる人材の育成	企業・地域が求める人材を育成するために、平素より基礎基本の学力・技術の向上と人間性を育む。また、講演会等の実施、各種の進路情報の提供を行う。	進路指導講話や各種の進路情報を通してキャリア教育の在り方を考えさせる。倫理観や規範意識を育てるために学校組織全体の協力を得る。
	キャリア教育の充実	キャリアパスポートを生かしたキャリア教育を充実させ、将来の進路決定の意識を醸成する。インターンシップとクラフトマンⅢに参加する生徒への啓発や、成果発表会等の指導を充実する。	生徒がより多くの業種を理解できるように企業との連携を密にする。より多くの生徒に、企業における就業体験をさせて、勤労観や職業観を醸成させる。
	進路指導体制の充実	各学年に応じた進路指導や面接指導を充実させる。就職先の情報提供を工夫する。就職者の状況調査を行い、進路指導に反映させる。	学年や担任、学科と充分に連絡を取り、面接指導等、より一層の効果が上がるように準備や指導を行う。
保健活動 (保健部)	健康管理	健康診断や季節に応じた「保健だより」、保健指導等を通して、生徒の健康に対する自覚を促す。	生徒が興味・関心を持つような支援を心掛ける。ヘルスプロモーションの考え方を理解し、生徒に的確な思考・判断を中核とした実践力の育成を目指す。
	学習環境の整備	清掃時間は最優先で確保する。生徒が主体的に環境背美を進めることができる枠組みをつくる。	指示されたことだけこなすのではなく生徒が自ら考えて、行動する環境整備を目指す。
	学校安全の確保	運動部の主将とマネージャーを対象に熱中症予防講演会を開く。長期休業前の集会で安全に留意するよう周知する。	リーダーの育成、そのアウトプットにより全生徒が自身や他人の体調に気を配れるようにする。
健康障害防止 (保健部)	職員の時間外労働管理と保健指導	職員の在校時間を安全衛生委員会で確認し、1ヶ月に80時間を超える者に対してその状況に応じて面接指導などを実施する。	健康状態などの聞き取りを行う。勤務時間外で学校にいる職員に声掛けを行う。休養室を利用しやすい環境にする
教育相談 (保健部)	教育相談の充実	学年会等で、悩みや問題を抱えている生徒の状況を把握する。学級担任と協力しながら、スクールカウンセラーとの面談につなげるなどして、生徒を支援する。	職員間での情報交換を絶やさず、それぞれのケースに応じた対策を考える。必要に応じて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育に関する専門機関にアドバイスを求める。

情報管理 (情報管理・研修部)	情報セキュリティの確保	<p>便利さと情報漏洩防止とのバランスを考える必要がある。</p> <p>情報機器だけでなく身近にある重要度の書類等の扱い、席を離れた時の扱い、校外への持ち出し等、職員の意識向上を図り、ルール作り（セキュリティポリシー）</p> <p>および、生徒用タブレットの取り扱い方法を確立させる。</p>	<p>愛知県情報セキュリティポリシーを理解し遵守させるため、校内研修等日々の勤務中から広報していく。</p>
	生徒用タブレット運用	<p>生徒用タブレットの運用ルールを作成し、スムーズに使用できるようにする。</p> <p>保護者への協力を求めるとともに教員間の意思統一をする。</p>	<p>本年度からの運用の為、「G I G A スクール構想本格的チェックリスト」に一致するよう定める必要がある。</p>
職員研修 (情報管理・研修部)	校内研修	<p>基本研修ならびに現職教育研修の充実を図る。</p>	<p>教員のスキルアップのために、適切なタイミングでの校内研修について検討する。</p>
資格指導 (工務部)	資格取得データの管理・活用	<p>資格取得に関する情報を提供する。取得した資格の管理を行う。</p>	<p>生徒、保護者に対して正確な情報を適宜提供する。結果の集約を速やかに行い管理する。</p>
中・高連携 (工務部)	中学生高校見学会の充実	<p>すべての学科を見学することができ、余裕がある実施を行う。</p> <p>部活動見学については、別日に行う。</p>	<p>ものづくりの楽しさ、魅力が感じられるような方法を検討する。</p> <p>密にならないような見学の仕方に配慮する。</p>
地域交流 (工務部)	地域に根ざした交流の推進	<p>魅力発見フェスタに参加して、本校生徒の活躍の場を提供し、より多くの人に知ってもらう。</p>	<p>工科高校の魅力を小中学生・保護者・地域にアピールするため、4学科と連携を取り実践する。</p>
情報管理 (工務部)	情報発信	<p>本校ホームページ・ツイッターの発信を行う。</p>	<p>顕著な成果、結果を速やかに更新する。また、新しいシステムでの構築を図る。</p>

## 令和2年度の学校評価

令和2年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけがえのない、すべて生命を大切にする。（交通安全・防犯意識の向上）</li> <li>・工業技術者としての安全意識の向上</li> <li>・社会貢献活動などを通して、地域に愛される学校づくり</li> </ul>		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学校運営 （総務部）	全職員の協力を得た学校行事の運営	入学式・卒業式等の式典、PTA総会、防災訓練等の各種行事の細案及びマニュアルを作成する。	コロナウイルス感染症の対策を踏まえた行事の対応ができた。今後、校名変更に向けた準備を行っていききたい。
	防災活動の充実と災害時の安全確保	防災活動の見直しを進め、防災意識の向上を図る。	防災訓練が行えず、学級担任に避難経路の掲示やシェイクアウトの説明を委ねた。 大規模地震合同訓練の代替として、消防署の協力のもと職員対象の消火栓取り扱い講習会を実施した。今後はコロナウイルス感染症等に対応した防災訓練を行えるよう検討する。
	学習環境の整備	生徒の健康的な学習活動のために、学習環境を整備する。	黒板の修理、机・椅子の交換、カーテンのクリーニングが迅速にできた。また、全教室に遮光カーテンを取付けられることになった。
P T A活動 （総務部）	保護者及び地域との連携	学校行事等へのP T Aの参加を促し、保護者及び地域との連携を図る。	P T Aの活動がほとんど行えなかった。今後、オンラインを活用する方法等を含め連携を図っていききたい。
学校広報 （総務部）	広報活動の充実	広報誌の内容を検討し、広報活動の充実を図る。	行事が行えなかった分、内容を精選し発行出来た。さらに内容を再検討し、学校の魅力を発信していききたい。
学習指導 （教務部）	基礎学力の定着と学力の向上	新学習指導要領を踏まえた授業改善を進め、学習活動に主体的に取り組める授業を計画、実践する。 定期的、計画的な課題の実施により予習復習の習慣を確立し、学力の定着を図る。	教科によって授業改善等が思うように進んでいない状況であった。新学習指導要領を踏まえた評価の検討についても同時に進めていく必要がある。 例年に比べると1年生において成績不振者が多かった。生徒の理解度を把握した上で適切な指導法を模索し、基礎学力を定着させる教科指導をしていききたい。
生徒指導 （生徒指導部）	基本的な生活習慣の確立	「時を守り、場を清め、礼を正す」を原点として指導をする。 時を守る：登校指導、遅刻指導 場を清め：5Sの徹底 礼を正す：挨拶、言葉遣い、身だしなみ	遅刻が例年より多かった。時間を守る事への意識づけの徹底が難しかった。挨拶は良くなっていると感じる。教職員から挨拶ができてることが生徒への意識を変えたと感じる。
	交通安全意識の向上	命を大切にするために、交通ルールやマナーを守らせる。 ホームルームや全校集会で指導するほか、朝の立ち番や交通安全運動にて指導する。	事故件数は昨年度を上回った。特に1年生が事故全体の約7割を占めていた。ルール・マナーに関する講話は放送を中心に実施したが、集会よりも効果は薄いと感じた。
	授業規律の確立	チャイム着席の指導を行う。 盗難防止を兼ねて、全職員で毎授業時間、教室巡回を行う。 姿勢を正して授業に参加させる。 教科担任・学級担任・学科・生徒指導部が連携をして指導を図る。	教職員の協力もあり教室巡回を実施でき、授業における大きな乱れはなかったと感じる。盗難と思われる事案は今年度一度もなかった。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
いじめ防止対策の推進 (生徒指導部)	いじめの未然防止に係る取組の充実	ホームルーム活動や集会において、いじめ防止をテーマとした活動を行い、生徒がいじめ問題を主体的に考える機会を設ける。	授業中の他ごとの指導、居眠り等はまだまだあるので更なる授業規律の確立を目指したい。
	いじめの早期発見と適切な事案対処	いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。	計画通りに実施することはできなかった。コロナ禍における「コロナ差別」については、ホームルームにて考える機会をつくることができた。 「人との関わりアンケート」を各学期ごとに実施し、早期対応ができた。
図書館活動 (図書部)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習活動に有益な図書館環境の整備	各教科の教員との連携や、最新情報等の収集により、生徒が主体的、意欲的に学習に取り組める図書等を充実させる。また、教員が図書館で授業等を実施するための環境を整備する。	各教科の協力により、2回の図書購入において、生徒が主体的に学習に取り組める図書を購入し、紹介することができた。来年度も引き続き、生徒及び教員の学習活動に資する図書を増やしていく予定である。
	生徒の読書活動の充実と豊かな情操の育成	生徒の読書への意欲を高め、豊かな情操の育成に有益な図書を充実させる。さらに、図書の配置換え等を行い、図書館の利用に慣れていない生徒にも利用しやすい環境を作る。	休業期間中に行った図書の配置換えが生徒達に好評であり、その後も要望に応じて配置等の改善を行った。また、生徒の読書意欲を高める図書も増やすことができた。1日当たりの利用者が昨年度より増加したことから、来年度もこれらの取り組みを続け、生徒の豊かな情操の育成に役立てていきたい。
	図書委員会活動の充実	図書館活動の活性化や図書館の環境整備に向けて、図書委員に主体的に活動させ、生徒の視点からより良い図書館作りを行わせる。	例年通りの活動ができなかったことから、各学年の図書委員達がアイデアを出し合い、読書の推進活動や図書館の環境整備を主体的に行うことができた。この活動をさらに活発化させていきたい。
進路指導 (進路指導部)	地域社会に望まれる人材の育成	企業・地域が求める人材を育成するために、平素より基礎学力の向上と人間性を育む。 また、進路指導講話や各種の進路情報の提供を行う。	各学年行事をとおり、機会があるごとに進路指導を行った。
	キャリア教育の充実	各学年に応じたキャリア教育を充実させて、将来の進路決定の意識を醸成する。 インターンシップとクラフトマンⅢに参加する生徒への啓発や、成果発表会等の指導を充実する。	コロナ禍の影響によりインターンシップとクラフトマンⅢに参加できなかった分を、学年行事によるキャリア教育を増やすことによって、補うよう努めた。
	進路指導体制の充実	各学年に応じた進路指導や面接指導を充実させる。就職先の情報提供を工夫する。 就職者の状況調査を行い、進路指導に反映させる。	各学年必要なキャリア教育の充実のため、必要な講座等を開講した。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保健活動 (保健部)	健康管理	各健診、保健指導、保健だより等を通して生徒の健康に対する意識を高める。	検温や健康状態の把握が日常となり例年と比べて健康意識が自然に高まったと考えられる。また、感染症に関する正しい知識を身につける機会になった。
	学習環境の整備	校内美化を保つため、年間を通じて清掃時間の確保を優先する。 各区域で清掃指導及び道具の管理を徹底する。	清掃時間の確保はさらに優先されるべきである。
	学校安全の確保	各講習会の開催や集会の講話等で、事故等の未然防止と発生後の的確な対処の備えについて理解を深める。	昨年度と同様、事故等の未然防止と発生後の的確な対処について理解を深める機会になった。
健康障害防止 (保健部)	職員の健康保持増進	日々の勤務状況や健診結果等において適切な措置がとれるよう、組織的な整備を推進していく。	勤務状況や健診結果等において適切な健康、面接指導等を勧奨した。安全衛生委員会等、今年度は一部開催ができない行事もあった。次年度は、職員の健康の保持増進を重視した活動を行いたい。
教育相談 (保健部)	教育相談の充実	学年会の資料を参考にして、悩みや問題を抱えている生徒の状況を把握する。 学級担任と協力しながら、スクールカウンセラーとの面談につなげるなどして、生徒を支援する。	例年と異なる自粛や行動の制限は、生徒に様々な感情を生じさせたと思われる。そのなかで様々な不安を抱える生徒には寄り添い、支えになることが求められる。
情報管理 (情報管理・研修部)	情報セキュリティの確保	情報機器だけでなく身近にある重要度の書類等の扱い、席を離れた時の取り扱い、校外への持ち出し等、職員の意識の向上を行う。	外部への発信の際は、「Web ページ掲載時の『情報漏洩防止』チェックリスト」の追加提出、掲載ファイルに個人情報の記載の有無確認など職員の意識向上を図った。
	情報発信	本校ホームページ・ツイッター・緊急メールの発信を行う。	生徒用タブレットが導入されたことを受け、使用環境の整備を進めていく必要がある。
	職員研修	基本研修・現職研修などの校内研修を充実させる。	校内の情報機器情報を集約・整備できた。来年度以降も続けたい。
資格指導 (工務部)	資格取得データの管理・活用	資格取得に関する情報を提供する。 取得された資格の管理を行う。	取得した資格の賞状の再発行があった。賞状を大切に保管することを徹底する。
中・高連携 (工務部)	中学生体験入学の充実	中学生体験入学に参加した中学生・保護者の要望や本校職員の意見を踏まえて中学生体験入学を計画し実施する。 部活動体験については、実施時期を以前の状態に戻し、在り方や方法を検討し、実施に繋げる。	コロナウイルス感染症への対応のため、8月予定だったところを11月の土曜日に実施した。参加者全員に全ての学科を見学してもらうことができた。 参加人数が多く半日日程では無理があるため、日程を再考する必要がある。
地域交流 (工務部)	地域に根ざした交流の推進	豊田市高等学校魅力発見フェスタに参加し、地域との交流を図る。 合わせて本校生徒の活躍の場を提供する。	魅力発見フェスタは実施されなかったが、紹介ビデオの作成に協力できた。 地域企業の催す環境整備活動に協力することができた。